

第2章 地域の現況

第1節 自然的条件

1. 地形、水系

本市は南北に長く、瀬戸内海側に開けた扇状の地形となっています。市北側の市境の一角は標高 200～300m程度の中国山系の尾根が東西に伸びており、中央部から南側にかけてはなだらかな丘陵地、台地が広がり、海岸線一帯は干拓により形成された平地となっています。

市の中央部には北から厚狭川、東部には有帆川が瀬戸内海に注いでおり、市街地はこれら河川沿いの平地と干拓地を中心に形成されています。

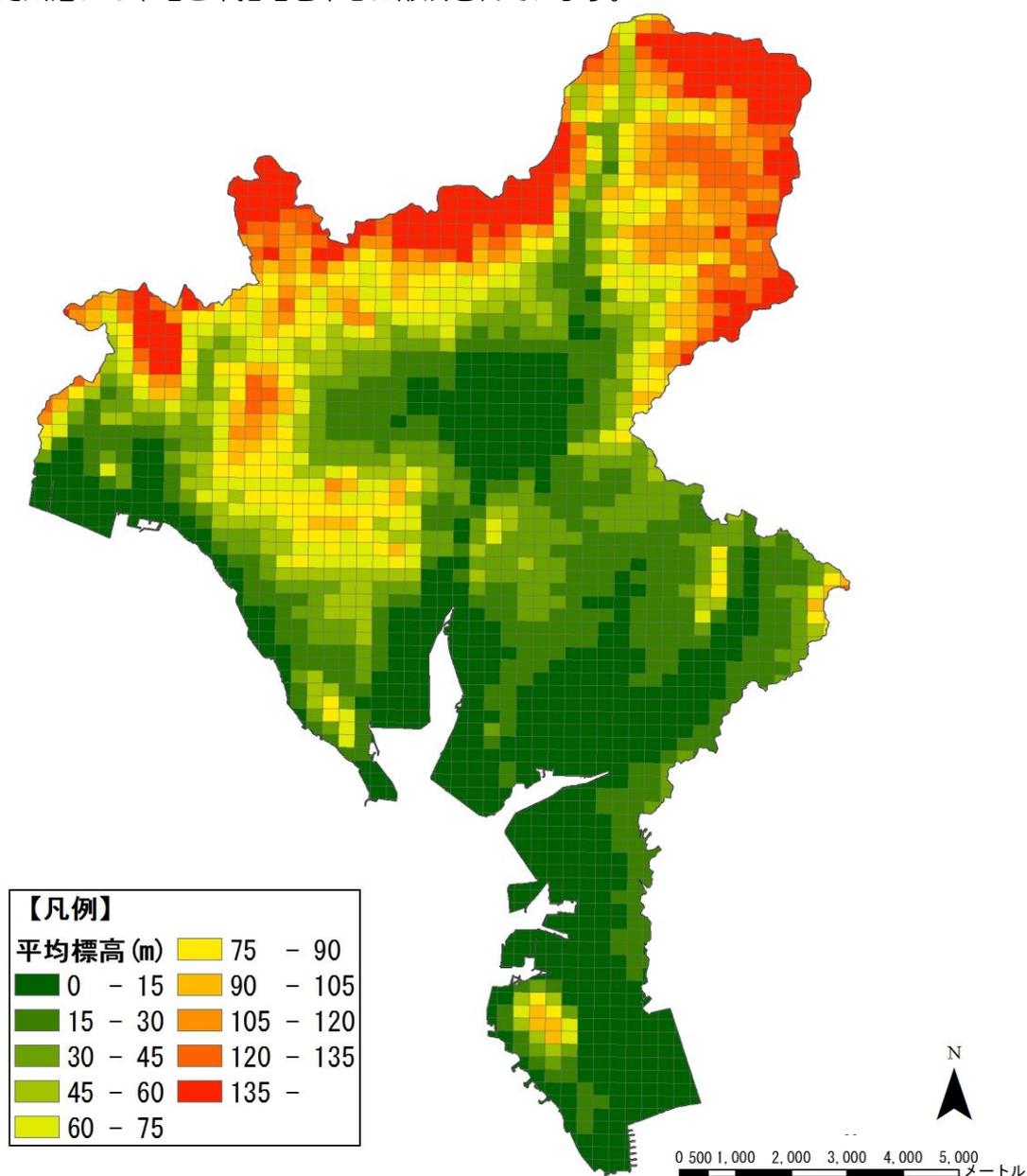


図 標高図

(国土交通省：国土数値情報 標高傾斜度 5次メッシュ (平成23年度))

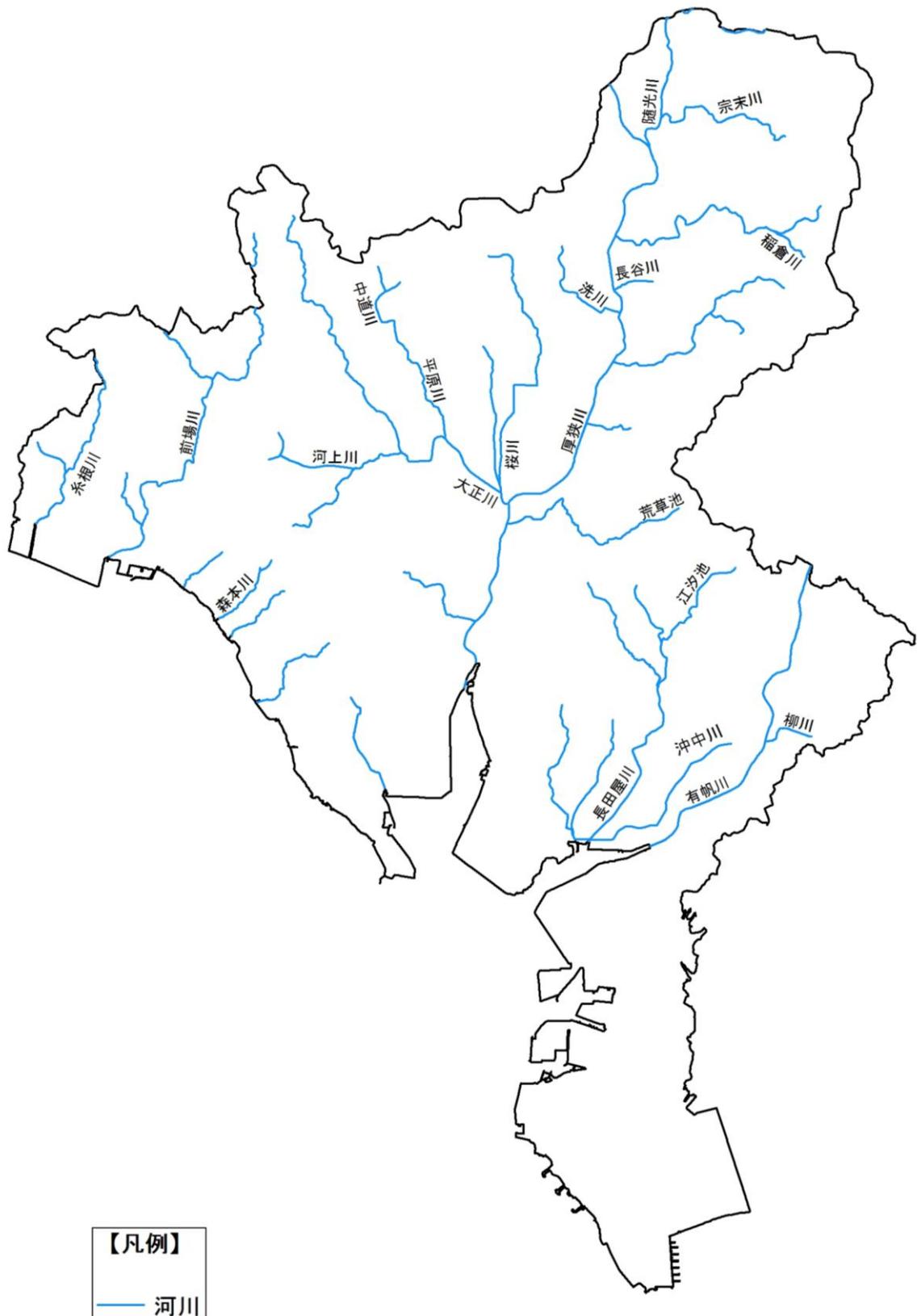


図 河川位置図

(国土交通省：国土数値情報 河川 (平成 20 年度))

2. 植生

市内の主な植生は、コナラを中心とする二次林が最も多く、次いで水田、スギ・ヒノキ・サワラの植林、シイ・カシの二次林となっています。

また、糸根地区公園内のクロマツ巨樹群やハマセンダンが市の天然記念物に指定されています。

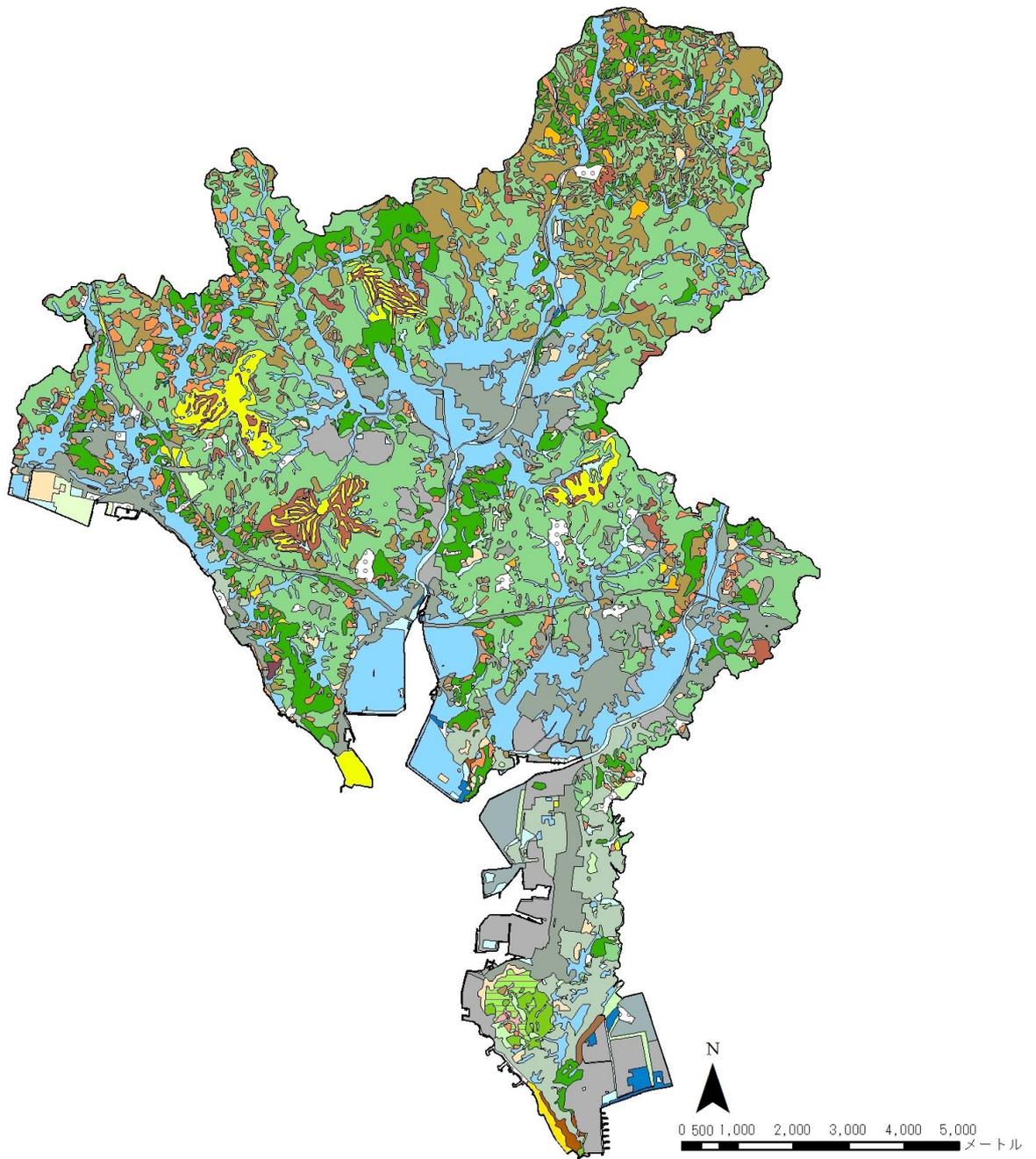
表 市内植生区分割合

(環境省：自然環境保全基礎調査(平成11年～) 1/25,000植生図より算出)

植生区分	面積 (ha)	割合
コナラ群落 (Ⅶ)	3,771.292	28.573%
水田雑草群落	2,315.215	17.541%
市街地	1,403.692	10.635%
スギ・ヒノキ・サワラ植林	1,332.539	10.096%
シイ・カシ二次林	1,014.238	7.684%
工場地帯	587.029	4.448%
緑の多い住宅地	527.589	3.997%
竹林	397.982	3.015%
ゴルフ場・芝地	328.248	2.487%
開放水域	321.967	2.439%
その他	1,199.227	9.086%
合計	13,199.020	100.000%

表 天然記念物

糸根地区公園内のクロマツ巨樹群	糸根地区公園内のクロマツ巨樹群約 12,000 m ² (クロマツの成木約 90 本)。 最大のものは、目通り幹囲 2.93m、樹高 20m の大木である。樹齢は最高で約 200 年と推定される。
ハマセンダン	竜王山山裾の大浜神社跡の裏に生育する巨木。目通り幹囲 5.2m、根回りは約 12m、樹高は約 15m で、国内最大級。雄株。樹齢はおよそ 250 年。



【凡例】

コジイ群落	クズ群落	果樹園
スダジイ群落	スキ群落 (VII)	畑雑草群落
タブノキ群落	伐採跡地群落 (VII)	水田雑草群落
マサキトベラ群集	ヨシクラス	放棄水田雑草群落
シイ・カシ二次林	スギ・ヒノキ・サワラ植林	市街地
タブノキヤブニッケイ二次林	クロマツ植林	緑の多い住宅地
コナラ群落 (VII)	ニセアカシア群落	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
アカメガシワーエノキ群落	その他植林	工場地帯
アカマツ群落 (VII)	竹林	造成地
クロマツ群落 (VII)	ゴルフ場・芝地	干拓地
タケ・ササ群落	路傍・空地雑草群落	開放水域
低木群落	放棄畑雑草群落	自然裸地

図 植生現況図

(環境省：自然環境保全基礎調査 (平成 11 年～) 1/25,000 植生図参照)

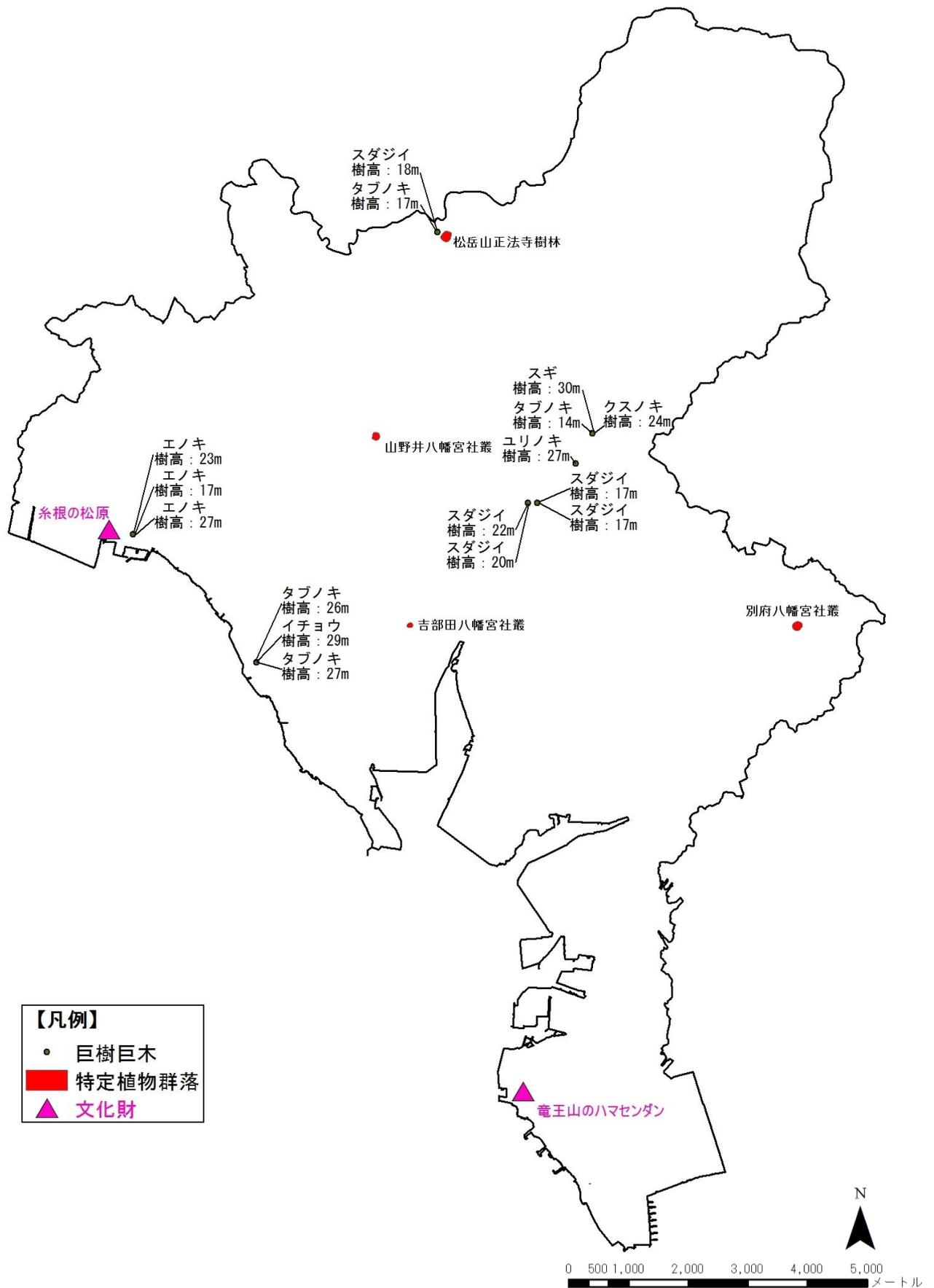


図 巨樹・巨木、特定植物群落及び文化財分布図
 (環境省：生物多様性センター 第3・5回(昭和58～平成10年度)
 特定植物群落調査、第6回(平成11～16年度)巨樹・巨木調査参照)

3. 動植物

市内には「レッドデータブックやまぐち※」に記載された貴重な動植物が生息しています。また、竜王山は西日本有数のヒメボタルの生息地となっています。

※山口県内に生息・生育する野生動植物の種を対象に、絶滅のおそれのある種を選定し、それらの分布状況や生息状況を明らかにすることにより、的確かつ効果的な野生動植物の保護対策を講じる上での基礎資料に資することを目的として作成されたもの。

表 市内に生息している絶滅のおそれのある種（鳥類）

分類種別	和名	レッドデータブックカテゴリー	
		山口県	環境省
鳥類	ナベヅル	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類
	マナヅル	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類
	ブップウソウ	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類
	セイタカシギ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類
	ヤマドリ	絶滅危惧ⅠB類	-
	クロツラヘラサギ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧ⅠA類
	ツクシガモ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧ⅠB類
	コクガン	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	ヒシクイ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	オオタカ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	アカアシシギ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	コアシサシ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	ハヤブサ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	ホウロクシギ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	ズグロカモメ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	チュウサギ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
	ヘラサギ	絶滅危惧Ⅱ類	情報不足
	シロチドリ	絶滅危惧Ⅱ類	-
	ミゾゴイ	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	ミサゴ	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	ヨシゴイ	準絶滅危惧	-
	ノスリ	準絶滅危惧	-
	オオバン	準絶滅危惧	-
	ケリ	準絶滅危惧	-
	クロツグミ	準絶滅危惧	-
	ササゴイ	準絶滅危惧	-
	オシドリ	準絶滅危惧	-
	ヨシガモ	準絶滅危惧	-
	ヒクイナ	準絶滅危惧	-
	タマシギ	準絶滅危惧	-
	ウミネコ	準絶滅危惧	-
	カッコウ	準絶滅危惧	-
	アオバズク	準絶滅危惧	-
	フクロウ	準絶滅危惧	-
	ヨタカ	準絶滅危惧	-
	ヤマセミ	準絶滅危惧	-
	アカゲラ	準絶滅危惧	-
	センダイムシクイ	準絶滅危惧	-
	オオルリ	準絶滅危惧	-
	クロジ	準絶滅危惧	-

表 市内に生息している絶滅のおそれのある種（両生類、陸・淡水産貝類、植物、その他植物）

分類種別	和名	レッドデータブックカテゴリー	
		山口県	環境省
両生類	トノサマガエル	準絶滅危惧	-
	ニホンヒキガエル	準絶滅危惧	-
陸・淡水産貝類	メダカ	絶滅危惧ⅠＢ類	絶滅危惧Ⅱ類
	ドジョウ	絶滅危惧ⅠＢ類	
	ヒメマルマメタニシ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	クルマヒラマキガイ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
植物	アゼオトギリ	絶滅危惧ⅠＡ類	絶滅危惧ⅠＢ類
	クチナシグサ	絶滅危惧ⅠＡ類	-
	マルミスブタ	絶滅危惧ⅠＡ類	絶滅危惧Ⅱ類
	ナガバスブタ	絶滅危惧ⅠＡ類	絶滅危惧Ⅱ類
	ミカウスブタ	絶滅危惧ⅠＡ類	-
	ミスミイ	絶滅危惧ⅠＡ類	絶滅危惧ⅠＢ類
	アキザキヤツシロラン	絶滅危惧ⅠＡ類	-
	ニラバラ	絶滅危惧ⅠＡ類	-
	ウラシマソウ	絶滅危惧ⅠＡ類	-
	ハマボウ	絶滅危惧Ⅱ類	-
その他動物	カブトガニ	絶滅危惧ⅠＡ類	絶滅危惧Ⅰ類

表 レッドデータブックカテゴリー一覧

レッドデータブックカテゴリー	説明
絶滅	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
野生絶滅	飼育・栽培下でのみ存続している種。
絶滅危惧Ⅰ類	絶滅の危機に瀕している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
絶滅危惧ⅠＡ類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
絶滅危惧ⅠＢ類	ⅠＡ類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
絶滅危惧Ⅱ類	絶滅の危険が増大している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、 近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
準絶滅危惧	存続基盤が脆弱な種。 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては 「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
情報不足	評価するだけの情報が不足している種。
絶滅のおそれのある地域個体群	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

4. 自然景観

本市の代表的な自然景観を以下にまとめます。

① 美しい眺望を有しているもの

竜王山公園は竜王山（標高 135.69m）に整備された公園です。公園の山頂からの眺望は、せとうち夢海道 50 景にも選ばれており、瀬戸内の素晴らしいロケーションを楽しめる場所です。晴れた日には、関門大橋、九州、四国連山が望めます。



竜王山公園

本市で最高峰の松嶽山（標高 323.7m）は、山頂からは厚狭市街を目の前に、右手に石山、左手に日ノ岳山などが市街地を背後から抱くように連なり、遠くは竜王山まで臨むことが出来ます。周辺は優れた自然環境に包まれ多くの方に親しまれています。



松嶽山

② 歴史を有しているもの

糸根地区公園内のクロマツ巨樹群は面積にして約 12,000 m²（クロマツ成木約 90 本）で、樹齢は最高で約 200 年と推定されており、市指定文化財に指定されています。このクロマツ林は、古来より白砂青松の風光明媚な景観を演出し、海水浴場等住民の憩いの場、また、防風林として海辺の人家を守り、漁民の休憩、小舟の避難などに格好の場を提供してきました。

また、竜王山山裾の大浜神社跡の裏に生育するハマセンダンは、目通り幹囲 5.2m、根回りは約 12m、樹高約 15mの国内最大級のハマセンダンです。樹齢はおよそ 250 年と言われており、市指定文化財の天然記念物に指定されています。



糸根の松原



ハマセンダン

③ 住民が日頃親しみを感じているもの

市民 2,000 人に対して行った緑のまちづくりに関するアンケート調査によると、本市を代表する緑として、「江汐公園」「竜王山公園」が多く挙げられました。

江汐公園は、江汐湖を中心に、豊かな植生と多くの野鳥や昆虫に恵まれた公園です。四季折々の花が楽しめ、本市の観光名所として年間 20 万人の人が訪れています。



江汐公園

第2節

社会的条件

1. 人口

本市の人口、世帯数の状況は下表のとおりです。

人口は、平成17年以降微減傾向が続いており人口減少が継続しています。一方、世帯数は平成17年以降増加傾向にあり、核家族化・少子化の傾向がうかがえます。

表 人口・世帯数の推移（住民基本台帳）

	人口(人)	世帯数(世帯)
平成17年	68,170	27,215
平成18年	67,855	27,478
平成19年	67,610	27,681
平成20年	67,039	27,721
平成21年	66,777	27,992
平成22年	66,442	28,175
平成23年	66,157	28,336
平成24年	65,740	28,390
平成25年	65,275	28,465
平成26年	64,758	28,459
平成27年	64,433	28,600

※基準日:4月1日

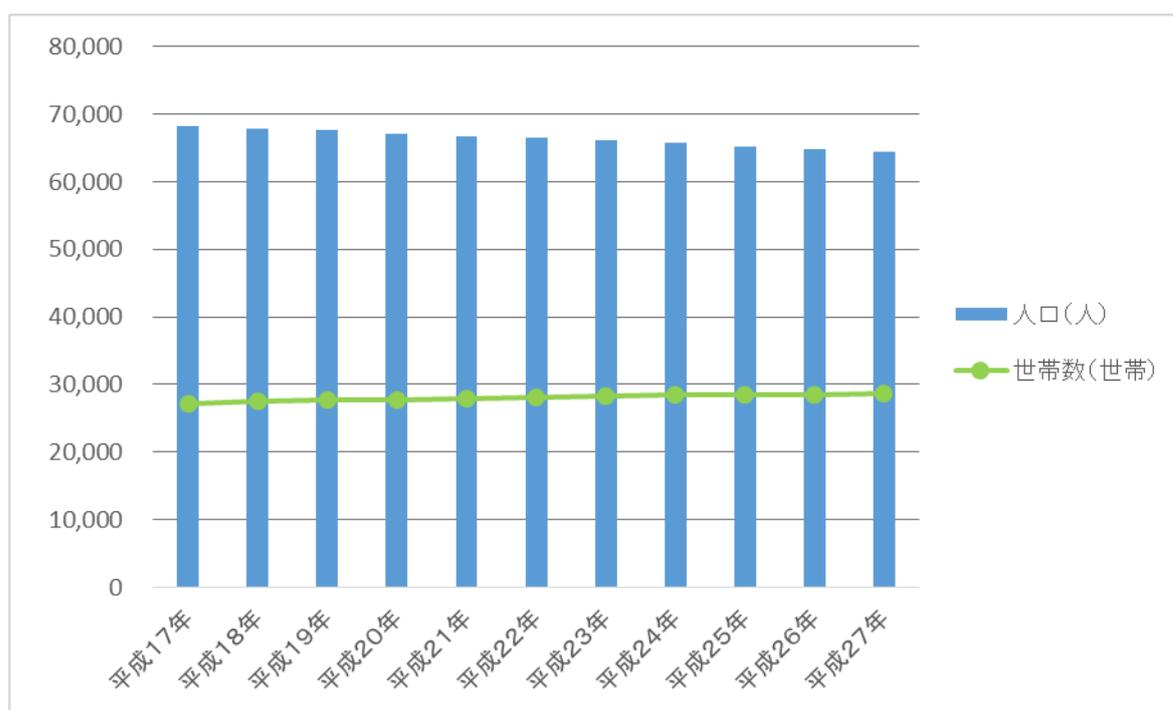


図 人口・世帯数の推移（住民基本台帳）

2. 土地利用

本市の土地利用の状況は、以下のとおりです。

本市の総面積は 13,299ha であり、山林が市域の約 40% (5,682.2ha) を占めています。宅地は市域の約 8% (1,046.5ha) です。

都市的土地利用の内訳をみると、住宅用地と工業用地の占める割合が高く、商業用地の占める割合は比較的低い状況となっています。また、工業団地の一部、厚狭駅周辺において、まとまった未利用地が残されています。

表 土地利用現況（山陽小野田市都市計画基礎調査（平成 24 年））

市街地区分	自然的土地利用							都市的土地利用								小計	合計
	農地		山林	水面	その他の自然地	小計	宅地			公共・公益用地	道路用地	交通施設用地	その他公的施設用地	その他の空地			
	田	畑					住宅用地	商業用地	工業用地								
用途地域指定区域	面積 (ha)	122.8	158.4	176.9	34.0	5.3	497.4	642.1	97.3	577.1	370.5	275.7	31.6	0.0	449.2	2,443.6	2,941.0
	割合 (%)	4.2	5.4	6.0	1.2	0.2	16.9	21.8	3.3	19.6	12.6	9.4	1.1	0.0	15.3	83.1	100.0
用途地域指定外区域	面積 (ha)	1,185.3	369.2	5,505.3	541.1	76.9	7,677.8	404.3	27.9	76.3	308.9	392.9	49.4	13.5	1,407.0	2,680.2	10,358.0
	割合 (%)	11.4	3.6	53.2	5.2	0.7	74.1	3.9	0.3	0.7	3.0	3.8	0.5	0.1	13.6	25.9	100.0
合計	面積 (ha)	1,308.1	527.6	5,682.2	575.1	82.2	8,175.2	1,046.5	125.3	653.4	679.4	668.6	81.0	13.5	1,856.1	5,123.8	13,299.0
	割合 (%)	9.8	4.0	42.7	4.3	0.6	61.5	7.9	0.9	4.9	5.1	5.0	0.6	0.1	14.0	38.5	100.0

※「公共・公益用地」は土地利用現況図の「公益施設用地」と「公共空地」の合計。

※非可住地は以下の通り。

「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」の内で敷地面積 1ha 以上の大規模施設用地、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他公的施設用地」。

これらのほか、土地利用状況に関係なく全ての工業専用地域。

※面積集計は、土地利用現況図を基に図上計測により算定。

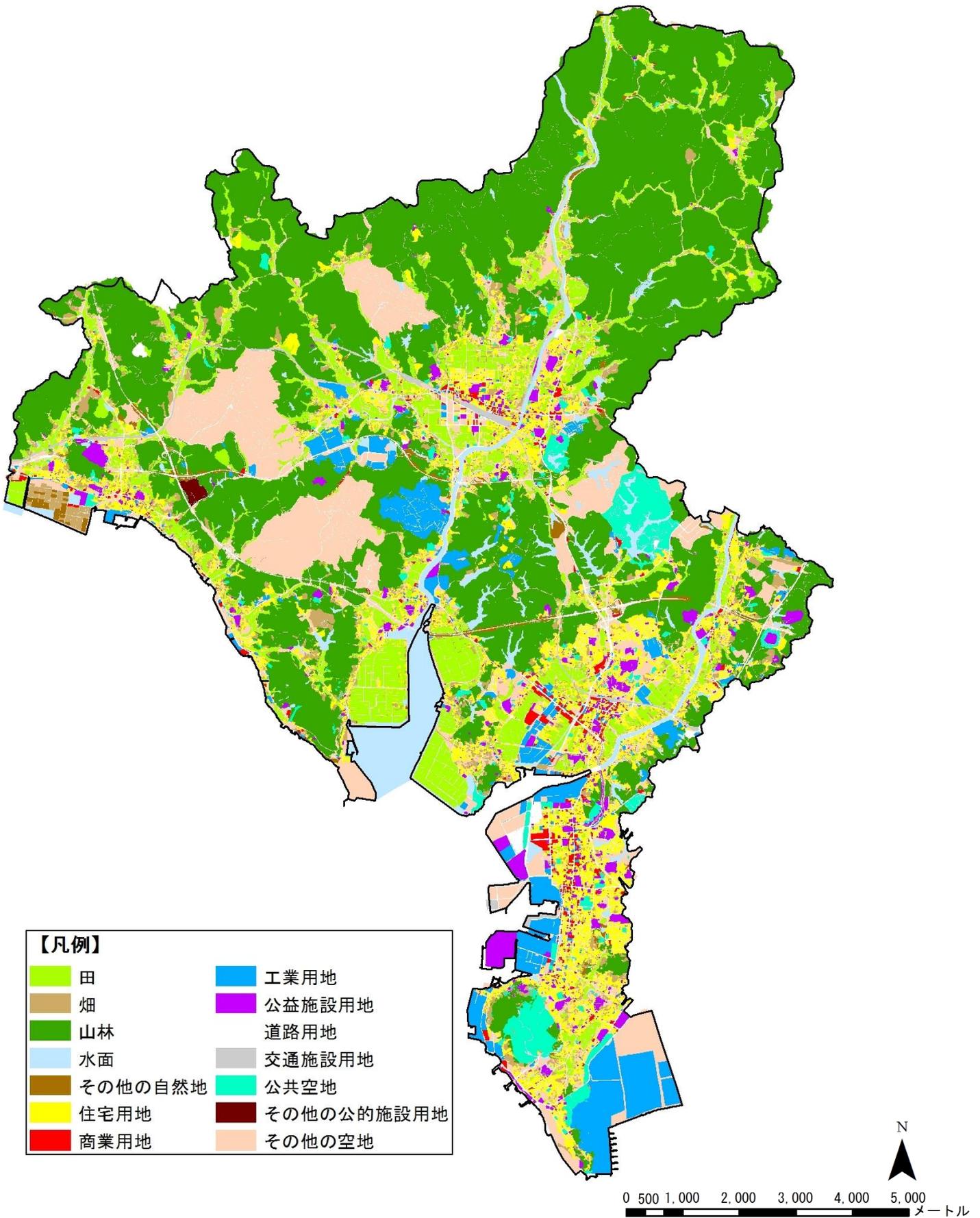


図 土地利用現況図
 (山陽小野田市都市計画基礎調査(平成24年))

3. 法規制

本市の主な法規制の状況は、以下のとおりです。

都市計画区域は市全域に当たる 13,299ha が指定されています。また、市域の約 20% に当たる 2,941ha が、用途地域に指定されています。

農業振興地域の整備に関する法律による農業振興地域は 8,188ha 指定され、農用地区域の面積は 1,365ha が指定されています。

地域森林計画対象民有林は 4,916ha、保安林は全箇所て 194.6ha が指定されています。緑地環境保全地域は 190ha、風致地区は全箇所て 240.25ha が指定されています。

また、市内ではありませんが、水源地域の山林の保全育成を目指して、美祿市秋芳町嘉万（かま）地域では「水源涵養（かんよう）林」を取得し、環境保全に努めるとともに、「水と森」に関する啓発活動を進めています。

表 土地利用に関する主な法規制状況(山陽小野田市都市計画基礎調査(平成 24 年))

地域・地区	名称	面積 (ha)	根拠法	備考	
都市地域	都市計画区域	13,299.00	都市計画法		
	用途地域指定区域	2,941.00	都市計画法		
農業地域	農業振興地域	8,188.00	農振法		
	農用地区域	1,365.00	〃		
森林地域	地域森林計画対象民有林	4,916.00	森林法		
	保安林	(棚田)	0.32	森林法	土砂流出防備
		(平原)	0.34	〃	〃
		(小松尾)	7.59	〃	〃
		(西の前)	0.29	〃	〃
		(菩提寺)	7.27	〃	土砂流出防備, 火災の防備, 公衆の保健
		(上久絵田)	24.79	〃	土砂流出防備, 火災の防備, 公衆の保健
(旧山陽町)	154.00	〃			
自然保全地域	緑地環境保全地域 (西ヶ河内・小松尾)	190.00	自然環境保 全法		
その他	風致地区	(江汐)	109.00	都市計画法	
		(菩提寺山)	45.00	〃	
		(縄地ヶ鼻)	7.25	〃	
		(竜王山)	75.50	〃	
		(本山岬)	3.50	〃	

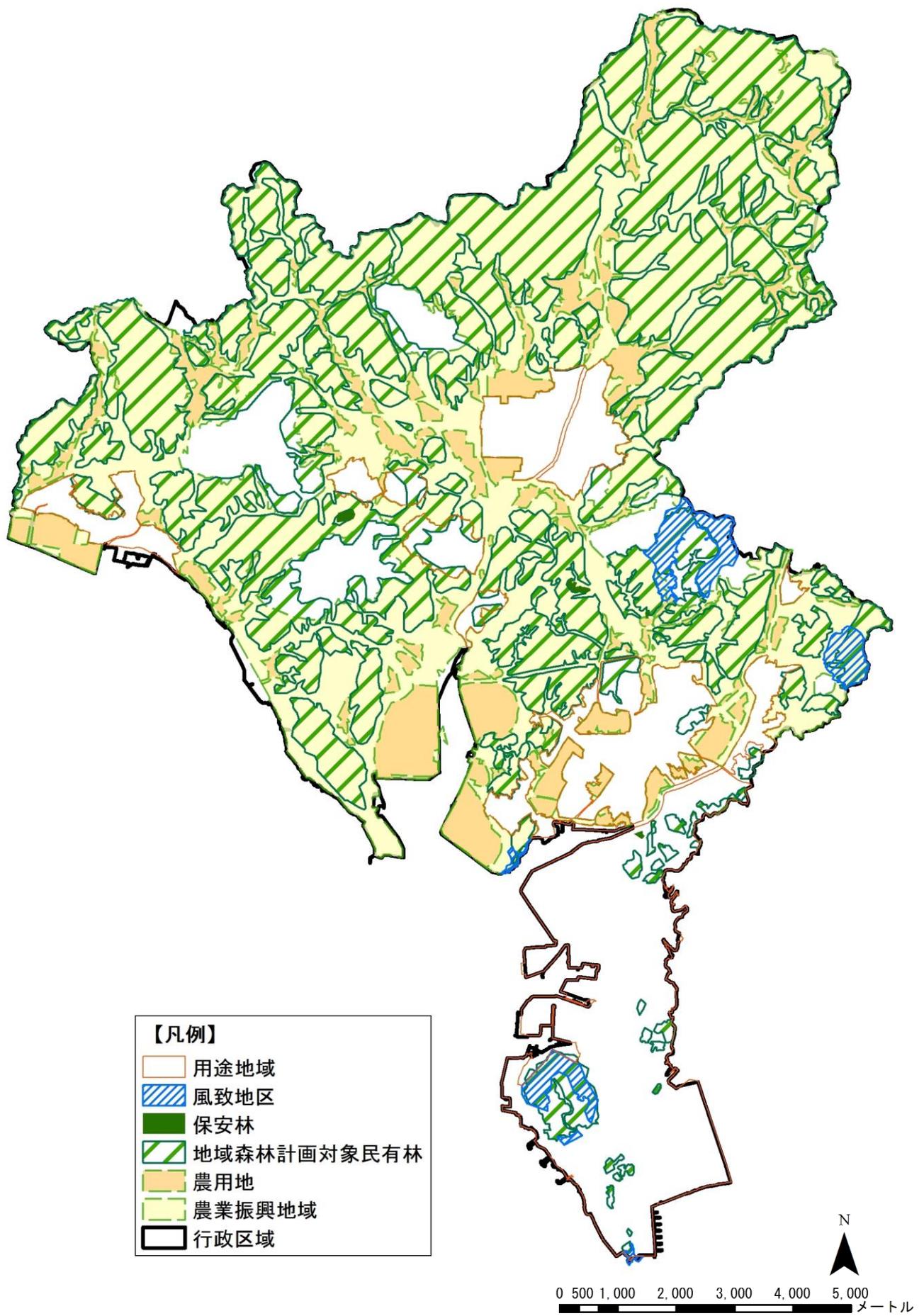


図 法規制現況
(山陽小野田市都市計画基礎調査(平成24年))

4. 交通

1) 道路網

本市の道路網は、山陽自動車道と国道 190 号、市域中央部を通る国道 2 号が東西方向の骨格を形成し、国道 316 号と県道小野田山陽線、小野田湾岸道路が南北方向を連絡する構造となっています。

2) 公共交通網

本市には、山陽新幹線厚狭駅があり、そのほか、JR 山陽本線、JR 小野田線、JR 美祇線の 3 路線によって周辺の都市と連絡しています。

3) 港湾

本市には、小野田港（重要港湾）、厚狭港（地方港湾）のほか、刈屋漁港、高泊漁港、埴生漁港、梶漁港の 4 つの漁港があります。

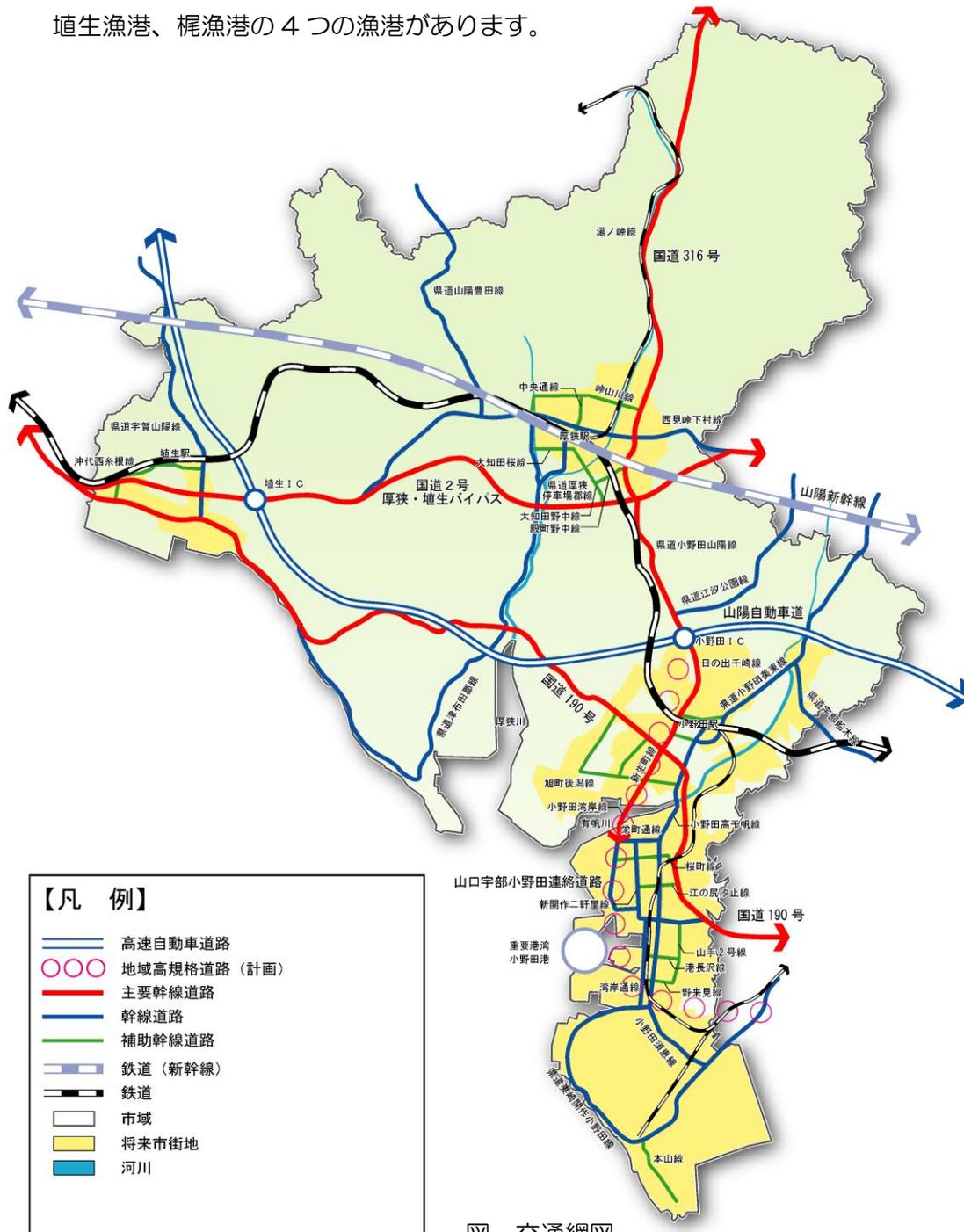


図 交通網図

5. 避難場所

本市の災害時避難場所は以下のとおりです。

広域避難場所は、竜王山、小野田中央公園、江汐公園の3箇所となっています。

表 避難場所一覧 1/2 (山陽小野田市地域防災計画)

校区名	避難場所名	備考
本山校区	本山小学校	-
	本山公民館（福祉会館併設）	-
	本山コミュニティ体育館	-
	竜王山	広域避難場所
赤崎校区	赤崎小学校	-
	赤崎公民館（福祉会館併設）	-
	竜王中学校	-
	山口東京理科大学	-
須恵校区	商工センター会議室	-
	須恵小学校	-
	小野田中学校	-
	須恵公民館（福祉会館併設）	-
	須恵コミュニティ体育館	-
	小野田工業高等学校	-
	小野田中央公園（須恵健康公園）	広域避難場所
小野田校区	中央福祉センター	-
	小野田小学校	-
	市民館（公民館併設）	-
	市民体育館	-
高泊校区	高泊小学校	-
	高泊公民館（福祉会館併設）	-
	高泊コミュニティ体育館	-
高千帆校区	高千帆公民館	-
	高千帆福祉会館	-
	山陽小野田市役所	-
	小野田高等学校	-
	高千帆小学校	-
	高千帆中学校	-
	サビエル高等学校	-
有帆校区	有帆小学校	-
	有帆児童館	-
	有帆公民館（福祉会館併設）	-
	有帆コミュニティ体育館	-
	江汐公園管理棟	-
	江汐公園	広域避難場所

表 避難場所一覧 2/2 (山陽小野田市地域防災計画)

校区名	避難場所名	備考
厚狭校区	森広会館	-
	川上会館	-
	福正寺公会堂	-
	保健センター(山陽総合事務所併設)	-
	厚狭小学校	-
	厚狭高等学校南校舎	-
	文化会館小ホール	-
	妙徳寺	-
出合校区	厚狭中学校	-
	出合公民館	-
	石丸総合館	-
厚陽校区	鳥越福祉会館	-
	厚陽中学校体育館	-
	厚陽小・中学校	-
	西福寺	-
埴生・津布田校区	津布田小学校	-
	森本公会堂	-
	埴生中学校	-
	埴生公民館	-
	埴生小学校	-
	福田公会堂	-
	長生園	-
	サンライフ山陽	-

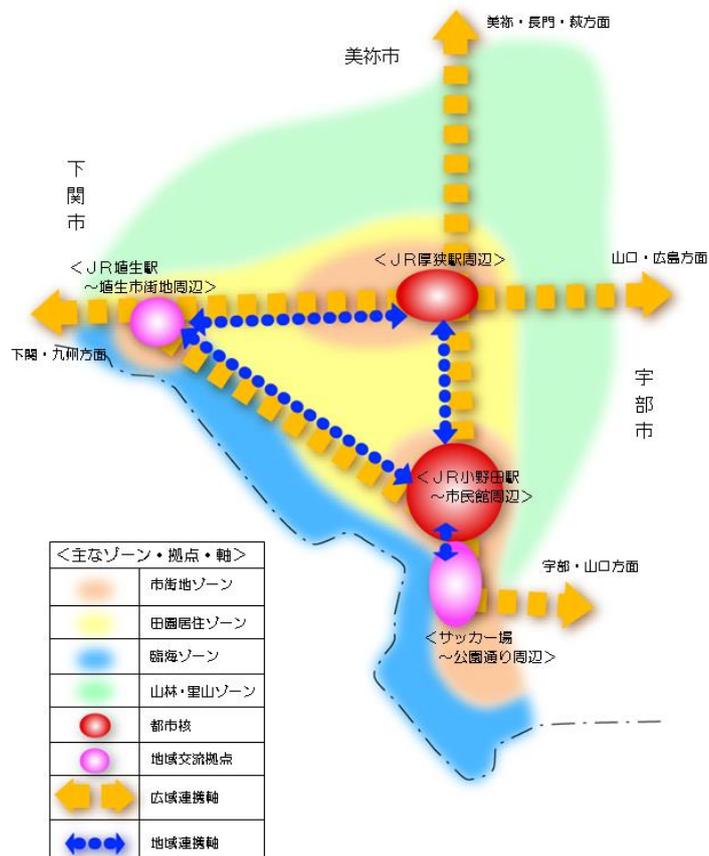
6. 関連計画及び事業

本市の上位関連計画の概要は以下のとおりです。

第一次山陽小野田市総合計画（平成20年3月策定）〈基本計画平成25年3月改訂〉

計画年度	平成20年度～29年度
基本理念	<p>●主理念 生活の質を重視した「住み良さ」の創造</p> <p>●取組理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な組織や市民との協働による「住み良さ」づくり ・地域資源を活かした「住み良さ」づくり ・多元的なネットワークによる「住み良さ」づくり
将来都市像	人と出会い 支え合い 自然とふれあう 活力ある 住み良さ創造都市 ～子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる心豊かなまちを目指して～
基本目標	<p>①暮らしの安心・安全を守るまちづくり</p> <p>②市民が主役のまちづくり</p> <p>③うるおいのある快適なまちづくり</p> <p>④にぎわいと活力にみちたまちづくり</p> <p>⑤人が輝く心豊かなまちづくり</p>
目標人口	平成29年（2017年）：64,000人
基本計画（改訂版） 〈みどりに関する基本方針〉	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全意識の高揚 ・自然環境保全の推進 ・都市公園の整備と適正な管理運営と恵まれた緑地の保全 ・市民参加による緑化の推進 ・景観意識の高揚と良好な街並み景観の形成 ・環境への負荷の少ない社会への転換 ・生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境の整備

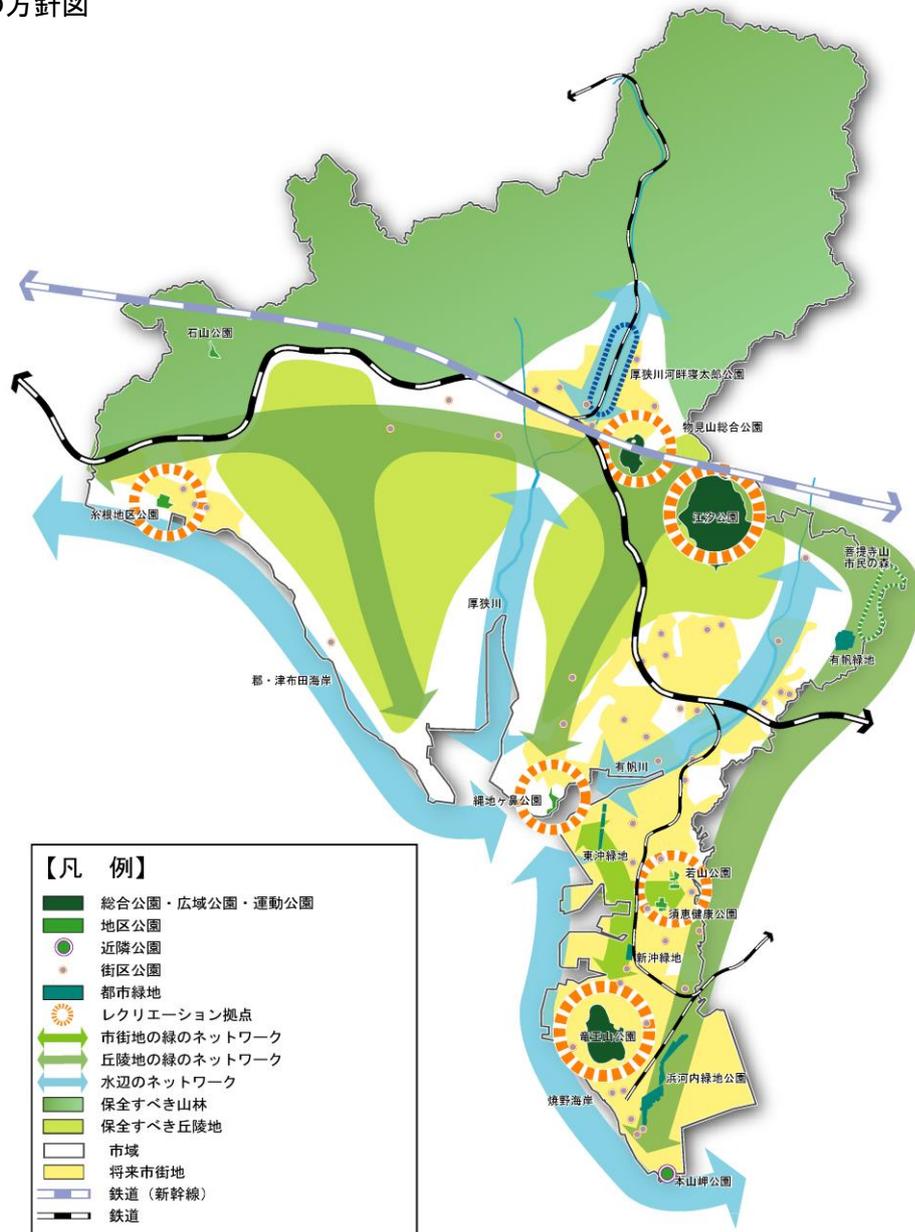
土地利用構想



山陽小野田市都市計画マスタープラン（平成21年3月策定）

計画年度	平成20年度～29年度
都市将来像	自然に抱かれ 人々の交流のなかで 共に育む 活力ある住み良さ創造都市
都市づくりの基本理念	① 安心・安全・快適・便利な都市を創る ② 地域の個性や資源を活かした都市を創る
都市づくりの基本方針	① 分散したコンパクトな市街地を活かした住み良さの創造 ② 充実した交通ネットワークを活かした住み良さの創造 ③ 恵まれた自然環境や歴史資源を活かした住み良さの創造 ④ 安心・安全まちづくりの推進による住み良さの創造 ⑤ 市民の視点に立った住み良さの創造
目標人口	平成29年（2017年）：64,000人
公園・緑地の整備方針	① 緑のネットワークによる連続性・回遊性の向上 ② 身近な公園の整備 ③ レクリエーション拠点となる大規模公園の整備・充実
自然環境保全の方針	① 良好な自然環境の保全 ② 無秩序な市街化の抑制と農地の保全 ③ 市街地内の緑化の推進

緑と水辺の方針図



1. 本市の歴史と沿革

本市は、古くから山陽道や山陰と山陽を結ぶ連絡路のある交通要衝の地として栄え、古墳時代においても現在の厚狭地域を治めていた豪族がいたことを示す長光寺山古墳や妙徳寺山古墳が分布しています。

中世から近世初頭にかけて「厚狭川に大きな堰を造って、荒地であった千町ヶ原に水路を引き、美田をつくった」という大工事が実現され、今でも堰、水路、美田が残っていますが、公的な記録には、いつ誰によって築かれたのか、発見されておらず、ここから「厚狭の寝太郎」伝説が誕生したとされています。

江戸時代には、本市を通っている山陽道が参勤交代や商品流通などの道として利用されていました。明治14年(1881年)には、日本初の民間セメント会社が創立されるなど、明治以来、窯業・化学工業を中心に工業の街として発展してきました。この窯業の歴史を踏まえて、平成15年(2003年)、きららビーチ焼野海岸沿いにガラス工房がオープンし、全国レベルの現代ガラス展なども開催されています。

現在の山陽小野田市は、平成17年3月22日に旧小野田市、旧山陽町が合併して誕生しました。

2. 郷土芸能

本市における代表される郷土芸能は以下のとおりです。

伝統芸能	内容
古式行事	明治30年頃に厚狭天神まつりの行事として始まったとされ、現在は毎年11月の厚狭秋まつりで披露されています。行列は、大人の大行司、子供の小行司、それぞれ15名が鮮やかに道具を振りかざしていき、その後に馬に乗った大殿様や姫かごに乗った姫様などの行列が続きます。
百万遍念仏	有帆片山地区で、333個の大きな桐の玉を連ねた数珠を読経と太鼓に合わせて繰る。家内安全・五穀豊穰を祈って行われます。
木戸刈屋盆唄	江戸時代、萩から五郎という男が刈屋に来て生活をしていたところ、毛利の家老の娘が五郎を慕って来たが、二人の結婚に反対した娘の親が迎えに来ました。そこで、木戸と刈屋の境に松の木を植え、舞を踊って別れたという伝説があります。

3. 指定文化財等

本市には古墳時代から豪族が住みつき、中世から近世にかけては、かんがい用水や干拓の工事により美田が作られ、明治以降は臨海部を中心に石炭産業、セメント産業が発展しました。

このため、本市の文化財も、長光寺山古墳に代表される古墳や出土品、浜五挺唐樋などの土木建造物、そして小野田セメントに関連する建築物などが特徴的なものとなっています。

■国指定

周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋	寛文8(1668)	旧小野田セメント製造株式会社竪窯 (徳利窯)	明治16(1883)
------------------	-----------	---------------------------	------------

■国登録

小野田セメント山手倶楽部	大正3(1914)
--------------	-----------

■県指定

長光寺山古墳・出土品	4世紀後半	岩崎寺仏像 木造千手観音菩薩立像 木造釈迦如来坐像 木造阿弥陀如来坐像 木造大日如来坐像 木造阿弥陀如来坐像 木造不動明王立像 木造聖観音菩薩立像
妙徳寺山古墳出土品	5世紀前半	
妙徳寺山1号経塚出土品	平安後期	
物見山経塚出土品	中世初期	
正法寺木造十一面観音菩薩立像	建久4(1193)	
正法寺銅鐘	正平18(1363)	
旧小野田セメント製造株式会社竪窯 (通称: 徳利窯)	明治16(1883)	

■市指定

平松1号古墳	5～6世紀	松山窯跡出土品	6世紀中頃
仁保の上古墳	6世紀末	塚の川古墳	6世紀末
円応寺仏像 薬師如来坐像 不動明王立像 毘沙門天立像	天平20(748) 他	長光寺山経塚	平安末期
		長光寺山経塚出土品	平安末期
		正法寺古文書	13～17世紀
		仁保の上道乾屋敷跡	中世
岩崎寺観音堂罅口	明德3(1392)	厚狭毛利家墓所及び墓碑	2代元康以降
高泊御開作新田記	寛文12(1672)	法蓮寺梵鐘	元禄3(1690)
塩浜石灰梵滓堆積地	17世紀頃	洞玄寺石字経王塔	安永9(1780)
千林尼の大休・指月石畳道	文久2(1862)	旦の登り窯	明治23頃
小野田の皿山用具・皿山製品	明治～昭和	旧本山炭鋸斜坑坑口	大正6(1917)
古式行事		糸根の松原	

ハマセンダンを市指定文化財に追加 (平成 25 年 6 月 7 日指定)

近代化産業遺産(平成23年4月現在)

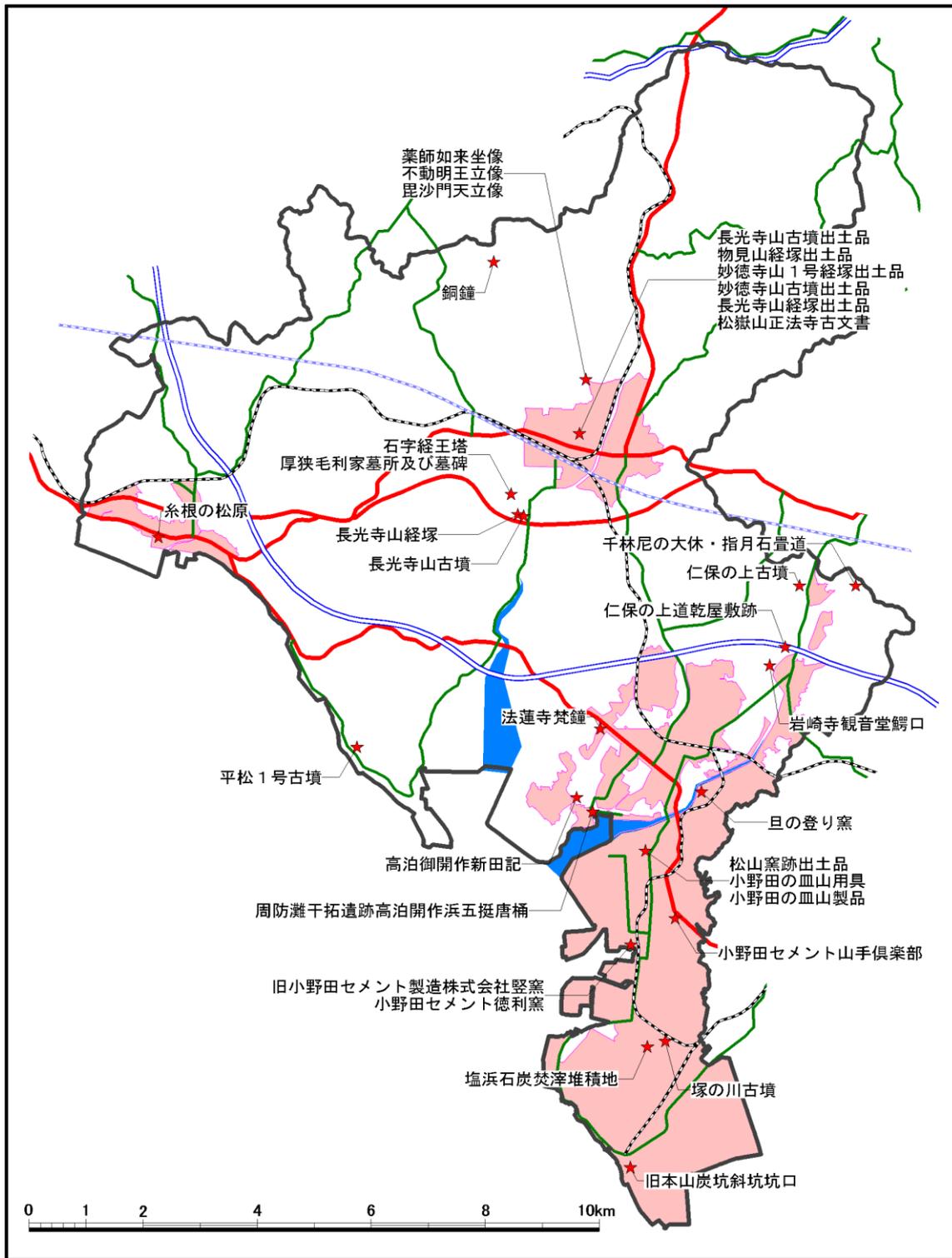
■セメント製造関連遺産

旧小野田セメント製造株式会社竪窯 (通称: 徳利窯)	明治16(1883)	小野田セメント山手倶楽部	大正3(1914)
		旧小野田セメント本社事務所	昭和3(1928)
旧小野田セメント役員社宅	大正13(1924)	製樽機、蒸気機関	明治

■窯業関連遺産

旦の登り窯	明治23頃	三好邸瓶垣	昭和3(1928)
小野田の皿山用具・皿山製品	明治～昭和	泥漉し場・バック・オロ跡	

(市文化振興ビジョン (平成 23 年 4 月))



【 凡 例 】

★ 指定文化財

市域

鉄道(新幹線)

用途地域界

鉄道(JR)

高速道路

国道

県道

図 文化財分布図 (都市計画マスタープラン資料)